

2018年8月23日

JOLED の第三者割当増資引受について

住友化学は、印刷方式有機 EL ディスプレイの開発・製造・販売を行う株式会社 JOLED（以下、「JOLED」）が第三者割当増資により発行した株式の一部を取得し、同社に 50 億円を出資いたしました。

JOLED は、今回の第三者割当増資により、石川県能美市に能美事業所を開設し、世界初の印刷方式有機 EL ディスプレイの量産工場（基板サイズ：G5.5、生産能力：ガラス基板ベースで月産約 2 万枚）として 2020 年の稼働開始を目指しています。同工場では、車載向けやハイエンドモニター向けなどを想定した中型サイズ（10～32 型）の印刷方式有機 EL ディスプレイの製造を行う計画で、住友化学は同工場向けに有機 EL 発光材料を納入予定です。

住友化学が開発している有機 EL 発光材料は、印刷方式によるディスプレイ製造が可能です。印刷方式は、現在一般的な製法となっている蒸着方式とは異なり、インクジェットプリンターのように材料を塗布して素子を形成するため、製造プロセスがシンプルで、かつ、装置費用と材料のロスを大幅に減らすことができます。そのため、中大型ディスプレイを低コストで生産することが可能となり、同方式は今後、有機 EL ディスプレイ製造方式の主流になると期待されています。

住友化学は、「ICT」分野を次世代事業開発の重点領域の一つとして位置付けています。JOLED への本格納入を皮切りに、印刷方式有機 EL 発光材料の市場投入をより早く確実なものとするとともに、今後のターゲット分野である TV 用途での早期事業展開に取り組んでまいります。

以上

有機 EL 発光材料を用いたディスプレイ製造プロセスの対比

